

国立研究開発法人産業技術総合研究所では、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構の委託研究を「地熱発電導入拡大研究開発／超臨界地熱資源技術開発／資源量評価（葛根田地域）」行っています。その一環として、葛根田地熱地域での地震現象モニタリングを行い、超臨界地熱貯留層近傍で生じる地震活動に関する基礎データを取得することを目的に複数の高感度地震計により観測を行います。

図内に青色▲で示した3地点に新規に地震観測点を設置する予定です。同地点に設置する必要性は以下が挙げられます。

- 過去の電磁探査により、下図の中央付近に超臨界地熱貯留層と思われる構造体の存在が予想されています。その近傍に観測点を設置する必要があります。
- 設置や定期メンテナンス（バッテリー交換等）時に、複数機材を運搬する必要があるため、登山道沿いのような整備された通路が必須です。

特に第一種特別地域内に設置する地震観測点に関しては、登山客の目に触れにくい場所に設置する等、周辺環境への影響を最小限にするように留意いたします。



図 新規観測点の設置予定地点(青▲)

1. 設置方法

請負(株)地球科学総合研究所

2. 設置日程

- ・観測点1, 2 令和3年9月14日～9月15日
- ・観測点3 令和3年9月14日～9月16日
- ・予備日 令和3年9月17日

設置作業工程 計画表

	9月			
	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)
設置作業員(JGI)				
A班員(2人)	動員, 設置	設置	復員	(予備日)
B班員(2人)	動員, 設置	移動, 設置	移動, 復員	(予備日)

3. 観測点の外観



イレクターパイプ(黒色)

ポリカ波板(茶色)

収納ケース



収納ケースカバー(緑)

収納ケース(黒)



植木鉢(濃茶色)

地震計を覆う
地下に埋設します